

国道50号線の全線4車線化の促進について（継続）

国道50号線の整備は地域経済波及効果が大きく、物流の効率化はもとより交通渋滞の緩和、環境の改善などをもたらすものであります。

本路線はみどり市笠懸町～前橋市を結ぶバイパス建設計画も進み平成16年度にはルート原案が示され、さらに平成19年1月30日には都市計画決定の告示が行われております。平成20年7月30日にはみどり市にて地元説明会も開かれ、用地買収など事業が始動しておりますが、地域の産業、経済、文化など社会の全分野にわたり極めて大きな影響と効果が期待されておりますので、引き続き桐生以西の全線4車線化の早期実現を強く要望いたします。

桐生市からの回答

国道50号前橋笠懸道路につきましては、所管する国土交通省高崎河川国道事務所において、平成20年度から事業着手されました。平成25年度には、みどり市笠懸町鹿交差点から約500m区間の道路拡幅整備が完成し、令和5年度は、15億4千万円の予算が配分され、前橋市今井町から二之宮町間の現道拡幅区間において、調査設計、用地買収、改良工事、舗装工事を推進し、前橋市二之宮町から伊勢崎市赤堀今井町の現道拡幅区間において、調査設計を実施、伊勢崎市赤堀今井町からみどり市笠懸町鹿のバイパス区間で、調査設計、用地買収を実施するとともに、橋梁下部工事、改良工事に着手する予定と聞いております。

「国道50号バイパス建設促進期成同盟会」を構成する群馬・栃木両県の9市と連携し、前橋笠懸道路の早期完成に向けて、引き続き国土交通省をはじめ、関係機関に対し、整備促進の要望活動を展開してまいりたいと考えております。

〔回答担当〕 都市整備部都市計画課都市計画係